

種名	<p>オ オ ジ ュ リ ン</p> <p><u>Emberiza schoeniclus</u></p>												
													
分類	スズメ目ホオジロ科												
特徴	冬のアシ原では、背中の淡色の縦斑がアシの枯れ茎にまぎれて見えにくいホオジロ類。ユーラシア大陸の温帯から亜寒帯で広く繁殖し、日本では北海道と青森、秋田両県に繁殖し、冬期は暖地に移動する。												
生活	繁殖期には平地の湿原に棲息し、アシ原のへりなどで見られる。アシの茎に縦にとまることができ、茎から茎へと移動しながらガの幼虫などの昆虫類を捕まえる。つがいで生活し縄張りを持つが、巣は比較的集中して作られ、コロニー状になることもある。越冬期には暖地の川や湖の岸のアシ原に棲息する。数羽から10数羽の小群でいることが多い。アシの茎にとまり、くちばしで音をたてて越冬している昆虫を探す。												
声	繁殖期には草の上や低木の枝先などにとまって「ジュッチー」とか「ジュッチーチーチー」などとさえずる。声は少し濁っており、ゆっくりと鳴く。地鳴きは「チッチッ」という短く細い声と、秋冬期によく聞かれる「チュウィー」とか「チュリーン」という声とがある。												
見分け方	夏羽のオスは頭が黒い点でコジュリンに似るが白い頬線がある。冬羽やメスでは灰褐色の腰、白い下面、黒く明瞭な顎線、赤褐色の雨覆が特徴。												
時期	(月)	1	2	3	4	-	-	-	-	-	10	11	12
その他	全長(L) 16cm 翼開長(W) 25cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													